

私の 男女共同参画社会へ 挑戦

男女共同参画社会は、一人ひとりの個性と能力が発揮できる社会です。このコーナーでは男女の枠にとらわれないことなく、自分の可能性に向かって輝いて生きる市民の方々をご紹介します。



チームキャラクター「レイナ様」

サッカーを通して 夢と勇気を与えたい

さいたまレイナスFC



さいたまレイナスは、女子サッカーのL1リーグ（なでしこリーグ）に所属する市民クラブチームです。旧浦和市をホームに平成10年に結成して以来、どんな相手にもひるまず果敢に挑むチームを目指し、日々練習に励んできました。そんな努力が実り、昨年のL1リーグでは悲願の初優勝、埼玉県で開催された国体でも優勝、そして全日本女子サッカー選手権では準優勝と見事な成績を収め、「サッカーのまち さいたま」にあらたな風を吹き込みました。

しかし、ここまでの道程は決して平坦なものではありませんでした。市民クラブチームゆえに、専用の練習グラウンドもありません。週6日の練習は、県立浦和西高校のグラウンドを借りるなど、県内のあちこちのグラウンドを転々としながら行ってきました。しかも、選手たちは仕事や学業があるため、練習は夜7時からの開始です。

どの選手もサッカーと仕事等の両立に苦勞しながらも、ここまで続けてこられたのは「何よりサッカーが好きだから。そして喜びを分かち合えるメンバーの存在が大きかったから。」と言います。

クラブ運営は後援会が行い、個人会員や地元企業80社からの会費等で支えています。ぎりぎりの資金で運営しているため、選手の交通費などは自己負担です。監督やコーチには無償で指導してもらっています。

主将の高橋彩子さんは「今回リーグ優勝という最高の成績を収めることができたのは、地域のみなさんの温かい応援のおかげです。私たちも、そんなみなさんの気持ちに応えようと、ねばり強く戦うことができました。」また、ゴールキーパーの山郷のぞみさんは「これでやっと、支えてくれたみなさんに恩返しできました。私たちのチームは女子サッカーの面白さを多くの人に知ってほしいと願って活動しています。これからもサッカーを通じて、多くの人に夢と勇気を与えていきたいと思っています。」と語ってくれました。

